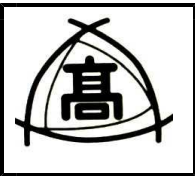


令和3年度 徳島県立小松島西高等学校 学校評価 総括評価表



教育目標 「誠実」「進取」「友愛」の校訓のもと、自主・自立の精神と豊かな人間性を持ち、地域社会に貢献できる人材を育成する。

重点課題 1 基礎学力の定着と主体的に学習に取り組む態度の育成に努め、キャリア教育を推進し、生徒の自己実現の支援を行う。
2 基本的生活習慣の確立を図るとともに、家庭・地域・関係機関等と連携し、組織的な生徒指導を行う。
3 互いの人格を尊重し、支え合う人間関係を築く能力を育てるとともに、いじめを許さない学校づくりを行う。
4 教職員の意識改革と資質向上を図るとともに、学校の組織力を向上させ、保護者や地域から信頼される学校づくりを行う。

重点目標	評価指標と活動計画		評価指標の達成度	評価
学校生活全般を通じて、基本的生活習慣の確立と集団生活の規律向上を図る。また、基礎基本の定着を図るとともに、自ら学び、自ら考え、主体的に判断・行動する力を育成する。	・登校指導、集会やホームルーム等での指導を通して、あいさつや言葉遣い、基本意識の向上を図る。 ⇒校則を守っている生徒、守れていると評価する教員 70%以上 ⇒「課題や提出物を期限までに出している。」生徒 80%以上 ⇒「学校生活において挨拶がよくできている。」生徒 70%以上 ・中学生への広報活動や在学生とその保護者へのICTを活用した情報発信・連携の強化、校務の効率化を図る。 ⇒「松西の教育活動には、生徒や保護者のニーズにあった特色がある。」90%以上 ⇒「ホームページは、本校の活動を理解してもらうのに役だっている。」75%以上		⇒校則を守っている生徒:66% 校則を守れていると評価する教員:75% ⇒課題や提出物を期限までに出している:93% ⇒挨拶がよくできている:76% ⇒松西の教育活動には特色がある:100% ⇒HPは、本校の理解に役だっている:70%	B
学習習慣を確立し、基礎学力の定着と専門分野の知識・技術の確実な習得を図る。 県内唯一の学科を有する専門高校の強みを生かしながら各分野を担う職業人を育成する。	商業科	・1年生で月曜7限の補習を昨年並みに確保し、習熟度学習等の導入により学力の向上を図る。 ・各種検定に積極的に取り組ませる。 ⇒全商簿記検定1級合格者数を前年より増加させる。 ⇒全商ビジネス文書実務検定合格者数を前年より増加させる。	⇒昨年以上に確保し学力の向上に取り組んだ。 昨年度2年次での合格者が多く、今年度は減少したが、日商簿記に挑む生徒が増加した。 ⇒ビジネス文書1級については1人増加した。	B
	食物科	・1・3年生で週2回、2年生で週1回の7限目や長期休業中の特別授業、集中講義を実施する。 ・小テスト・実技テスト等を実施し、授業内容の定着を図る。(考查時の専門科目の目標60点) ⇒家庭科技術検定(食物調理)の合格率100% 食育インストラクターの合格率100% 技術考查の合格率100% ⇒料理コンクール等での入賞を目指す。	⇒家庭科技術検定(食物調理)3年生100% 食育インストラクター98.4%, 技術考查100% ⇒・とくしまブランドde簡単料理コンテスト最優秀賞等 ・令和3年度徳島県若年者技能競技大会洋菓子製造部門金賞・銀賞・銅賞 ・とくしま創生アワード ひらめき賞 優秀賞	A
	生活文化科	・3年生で水曜・金曜週2回の7限目の補習を昨年度並みに確保し、学習成果の発表の場としてファッションショーを成功させる。 ⇒全員がファッションショー用の衣装2着以上を製作する。 ・各種検定に積極的に取り組ませる。 ⇒卒業時に家庭科技術検定(被服製作)4・3・2級の合格率100% ⇒色彩検定の合格率60%以上	⇒各自3～4着製作し、保護者・在校生限定での公開ではあったが、無事開催できた。 ⇒4級100%, 3級100%, 2級100% ⇒77.3%	A
	福祉科	・週3回の7限目や長期休業中の集中講義を実施し、1年次から国家試験を見越した指導を行う。 ⇒1単位につき35時間の授業時間を確保する。 ・校外模擬試験の平均得点率60%以上を目指し、成績の分析及び学習の効率化と、学習内容の定着を図る。 ⇒介護福祉士国家試験の合格率90%以上を目指す。	⇒長期休業中や各学期終業日前後の集中講義などで授業時数を確保した。 ⇒93.3%	A

A：十分達成できた B：概ね達成できた C：達成できなかった

学校関係者評価（主な意見など）

・評価指標を卒業時の合格率に統一すればよいのではないか。
・卒業作品展やファッションショー等成果が目に見える取り組みがあるのがよい。コロナ禍でなければインターンシップも含め連携・協力していきたい。
・学校運営の改善が目的だと思うが、成果が不十分な内容を課題に取り上げるだけでなく、学校の長所や特性、生徒が頑張っていること等をPRする内容でもよいのでは。
・小松島市と連携しているキューロ(生ゴミ分解型処理容器)を継続してほしい。

次年度への課題と今後の改善方策

・コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)がはじまり、本校の活動に適した賞への応募のアドバイス等、委員の方のご意見から新しい視点や活動を取り入れることができおり、成果もあがりはじめ、生徒の意欲向上にも繋がっている。
・「集団給食の残飯をキューロで処理する→土を堆肥として活用する→ハーブ等を育てる→集団給食に利用する」という形での循環を研究・実施する。
・新教育課程における学習評価等に応じた教務規定・諸規定集の見直しを図る。